

国語

課題チャレンジ

主語と述語の関係に注意して書こう

対象学年

5・6年生

たしかめよう

岩田さんは、「下書き①」で、**A**の文の
 -----部と-----部とがうまくつながっていない
 ことに気がつき、この文を書き直すことにしま
 した。文の意味が変わらないように、の中
 に続きを書きましょう。

大切なことは、

【下書き①】
 わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれませ
 ん。しかし、その力が積み重なれば大きなものになりま
 す。**A**大切なことは、行動することが大切だと思います。

Aの文を主語と述語との関
 係に注意しながら声に出して読
 んでみよう。「おかしいな。」と
 感じるころはないかな。



**自分の声を自分で聞きながら
 丁寧に読み返すようにすること
 が重要です。**声に出して読むこ
 とで、主語と述語が適切につな
 がっていないと、相手に正確に
 伝わらないということに気付く
 ことができます。

チャレンジ

組名前

一 次の文の中から、主語と述語を見つけましょう。
 主語には _____ 線を、述語には _____ 線を引きましょう。

- ① きつねが 魚を つかまえる。
- ② にもつが とても 重い。
- ③ 一年生の 弟が 教科書を 読む。
- ④ 空に うかんだ にじが きれいだ。
- ⑤ 昨日、ぼくは 公園の まわりを 走った。
- ⑥ これは、おじいちゃんの 手紙だ。

「だれが(は)」「何が(は)」に当たることばを「主語」、
 「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばを「述語」と言います。

二 絵を見て、それぞれの文の述語を考えましょう。



① ミナモが、



② 雨が、



③ 月が、

三 次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

教室に入ると、友だちが大きな声でぼくをよんだ。アおどろいて、ふり返った。イすると、とてもうれしそうな顔をしている。ぼくが「どうしたの。」と聞くと、友だちは「今日、ぼくの誕生日なんだ。」と答えた。

アとイの文は主語が、省略されています。それぞれの文の主語を本文中の言葉を使って答えましょう。

ア

イ



四 次の文は……部と……部とがうまくつながっていません。文の意味が変わらないように、続きを書きましよう。

① 私の夢は、先生になりたいです。

私の夢は、

② 弟の好きなことは、読書します。

弟の好きなことは、

【まとめ】

文を読むときには、主語と述語に気をつけると、人物がしたことや、様子がよく分かります。
話すときや、文を書くときは、主語と述語が、相手にきちんと伝わるようにしましょう。

【解答】

一 たしかめよう 【行動することです】。

① きつねが 魚をつかまえる。

② にもつが とても 重い。

③ 一年生の 弟が 教科書を 読む。

④ 空に うかんだ にじが きれいだ。

⑤ 昨日、ぼくは 公園の まわりを 走った。

⑥ これは、おじいちゃんの手紙だ。

二 例 ① 歌う ② ふる ③ まるい きれいだ

三 例 ア ぼく イ 友だち

四 例 ① 先生になることです。 ② 読書です。(読書をすることです。)

